



2004 恩納村青年エイサーまつり

村のひと 平成16年8月

男 5,167人 (-1)
女 4,942人 (+5)
計 10,109人 (+4)
世帯数 3,858世帯 (+8)

- ◆ 地域農水産物流通販売調査検討委員会が村長に要望書を提出
- ◆ ちえこのカンボジア日記 vol.5
- ◆ 優勝目指してがんばりました!
- ◆ むらの話題: サバイバルキャンプ 他



充実した老後生活を送るための

新 農業者年金

私たちは、世界一の長寿社会の中におり、老後の生活は大変大きな課題となっています。

しかし、**国民年金** (基礎年金) に最高40年加入した場合でも

年金の月額約6万6千円、**夫婦併せても約13万3千円**です。

一方、老後に必要な生活費 (世帯主が65歳以上で2人以上の世帯) はどうでしょう。

総務省統計局の平成12年家計調査によると

高齢者夫婦の1ヶ月の平均支出は約27万円と言われております。

でも、ご心配は要りません、その不足分を補うのに農業者年金がお役に立ちます。



農業者年金はメリットいっぱいの制度です

- 1 国民年金の被保険者で年間60日以上農業に従事されている方は誰でも加入できます
- 2 積立方式で少子高齢化の時代に対応した安定した制度となりました
- 3 認定農業者等一定の要件を備えた方に対し保険料の手厚い国庫助成 (政策支援) があります
- 4 月額2万円から6万7千円までご自身のライフプランに合わせ保険料を自由に選択できます
※国庫助成 (政策支援) を受けている場合の保険料は、2万円で固定されます
- 5 税制優遇でとってもお得 毎年最大80万4千円の所得控除。支払われる年金も公的年金控除が適用されます
- 6 途中でやめても年金が受けられ、80歳保証付 (加入者・受給者の方が80歳までに受け取るはずであった年金を遺族の方に死亡一時金として支給) の終身年金です

年金額の試算表 (政策支援を含め保険料月額2万円の場合のモデル例)

(金額: 万円)

加入年齢	納付期間	保険料納付総額			性別	年金額 ()内は月額	年金総額
		本人負担	国庫助成	合計額			
40歳	20年	408	72	480	男	30.4 (2.8)	657
					女	29.2 (2.4)	707

※65歳までの運用利回りは2%、65歳以降の予定利率は1.05%で計算していますので、運用成績により運用利回りが違えば、年金額も違ってきます。なお、個人別の年金額の試算は当基金ホームページの「年金額の試算」をご利用ください。

※「年金総額」欄は65歳での農業者年金の平均余命を考慮し、男84.3歳、女89.2歳まで生存した場合の年金受取総額です。

加入の申込みやご相談については、
農業者年金基金か最寄りの農業委員会またはJAにお問い合わせ下さい。

独立行政法人 農業者年金基金

相談指導員 03-3502-3199

企画調整室 03-3502-3942

ホームページ <http://www.nounen.go.jp>

恩納村農業委員会 966-1204

2004 恩納村青年エイサーまつり



▲ 山田青年会



▲ フィナーレ 参加全青年会の旗頭を一堂に集めカチャーシー



▲ 恩納青年会

▲ 南恩納青年会



▲ 谷茶青年会



▲ 喜瀬武原青年会



▲ 山田青年会



▲ 司会の陳さん、香さん



▲ 瀬良垣青年会



▲ エイサーの演舞に見入る観客



▲ 名嘉真青年会



▲ 名嘉真青年会

▲ 南恩納青年会



▼ 恩納青年会地謡のみなさん



▲ くつろぎながらエイサー観賞

お話を伺ってみて、とてもやる気があって、労を惜しまない方という印象を受けました。恩納村青年団協議会の今後ますますの発展と活躍を期待したいと思います。

質問 今後の課題は？
 地域との連携がとれた活動をしていきたい。例えば、地域の人と一緒に掃除するとか、奉仕活動とか。村内イベントへ青年団として参加していきたい。

質問 来年のエイサーまつりは？
 もちろん、やります！絶やさないように。今後もっと盛り上がり上げていけるようなまつりにしたい。今年以上に！10団体位出てほしい。

質問 やつてみてどうでしたか？
 大変でした(笑)！大変だったけど出演団体も結構出てくれてよかったです。今年以上に！10団体位出てほしい。

質問 エイサーまつりを開催しようと思ったきっかけは？
 青年会を活性化したくて。エイサーまつりがいいやらないと！と思いました。何か青年会として地域の人の目に見える活動をしたかった。

恩納村のエイサーまつりが2年ぶりに開催されました。今回の開催にあたり実行委員長の名城一幸さんにお話を伺いました。



▲ 2004恩納村青年エイサーまつり 実行委員長の名城一幸さん

今回は8月にタイの国境に近いバイリン州へ行ったときのことを紹介します。カンボジアはタイ、ラオス、ベトナムと接している、バイリン州はそのタイ国との国境にあたり、首都プノンペンから西に371km、車で片道8時間以上かかる場所です。



▲バイリン州中心地から徒歩で村に入る智恵子さん。周囲には地雷が？

マリアの発生はカンボジアの山岳や国境の森林に囲まれた少数民族に多いですが、バイリン州もそのひとつです。途中のバットバン州までの290kmは舗装された道路でスムーズに行くと約5時間で着きます。そこからの80kmはこれが道か？といえるほどの悪い道で、いつ横転してもおかしくない道を約3時間かけて行きました。その長距離ドライブがなれど、マリアセンターの車が出発後1時間後に故障してその日は使えなくなったので、半日以上かかるバイリンまでの道のりを、その後1台の車に6人乗り込むことになり、身動きとれない長時間のドライブになりました。ただ、よかったですという、車のバウンドがあまりにも激しかったので窮屈さを感じる余裕もなかったです。朝8時に出発、夕方6時半にやっと目的地のバイリンに到着しました。

翌日はまずバイリン州のヘルスセンターや病院を訪問しましたが、毎日のようにマリアの治療で患者さんが入院しています。その後中心地からは歩いて村の中へ入って行きました。村へ入るには森林や畑の脇を徒歩で行きます。脇道へ逸れないで歩いてスタッフから注意があり「どうして？」と聞く「説明できない」との返事。帰ってから知ったことですが、ポルポトの内戦時代の地雷がまだ森林の中に残されている可能性があるとのことでした。

村へはMSF (Medicine Sans Frontier) というNGO団体が定期的に検査や薬の配布をしており、その日もさっそくマリア患者が見つかり、薬を与えていました。村の人は蚊帳ももちろん利用していますが、森林の中に住んでいるので蚊に刺されることは避けられないようです。(生活の場を替えたとしてもお金がないのでそへ移動できない) ただ彼らは罹患しても薬を内服し、回復したら数日後にはまたいつものように森林でかけて畑の仕事を再開する。そしてマリアにかかった場合はまた薬をもらう。1人で3回ほどマリアにかかるというケースもここでは珍しくないようです。スタッフの話によると軽症の場合生活に大きな影響がないので、あまりマリアに対して敏感にならず、何度も罹患を繰り返す患者さんがいるのでなかなかマリアが減らない原因のひとつになっているようです。ここでのマリア対策に前途多難を感じた日でした。

帰りはマリアセンターの車が無事修理を終えて迎えにきたので、ドライバーをいれて1台に4人、行きよりはよかったです。スタッフが一言「マリアセンターで仕事ある限り何回でもこういった地方へ行くのは避けられない」ということで出張先の旅先の話はまだまだ続きそうです・・・。



▲バイリンの村人たち

「チラこのカンボジア日記」では、恩納村保健師の伊波智恵子さんに今後2年間のカンボジアでのシニア海外ボランティア体験をご紹介します。どうぞ次回をお楽しみに！



▲バイリン州のヘルスセンター

地域農産物流通販売調査検討委員会が村長に要望書を提出



▲村長に農産物流通販売促進及び生産体制の要望をする委員のみなさん＝役場応接室

農産物の流通販売促進及び生産体制の確立について検討してきた恩納村地域農産物流通販売調査検討委員会(比嘉豊林委員長)は8月27日、志喜屋文康村長に農産物栽培体制構築に向けた支援要望書を提出しました。委員会は8月1日にオープンした農水産物販売センターの積極的活用、本村農業の活性化、多様な消費者ニーズに応える安全・安心な少量多品目の野菜生産体制の構築や戦略品目の産地化を目指した生産体制の確立、アテモヤ等栽培農家の拡大等について提言し、村としてのバックアップを要望しました。また、緊急かつ具体的な当面の行政支援として次の6点を要望しました。①重点生産

恩納村地域農産物流通販売促進調査検討委員会

委員長 比嘉豊林(農振協会長)、副委員長 當山君子(グリーンツーリズム実践指導者)、伊芸安正(農業アドバイザー)、上間 悟(JA恩納経済課長)、仲松 伸(南恩納区長)、大城勝泰(特産物検討委員会代表)、大城保昭(パッションフルーツ生産者)、野里耕明(熱帯果樹部会長)、事務局 長嶺 勇(経済観光課長) ※敬称略

拡大品目とし位置づけてあるアテモヤの生産農家配布用苗を村苗畑において育成すること ②パイア優良品種配布用育苗を園すること ③在来野菜の調達及び育苗に取り組むこと ④農産物販売センター販売用アスパラガス配布用苗の育苗に取り組むこと ⑤ブラジル、ポリビア等南米から導入した花木・果樹類の選別育成に努めること ⑥ビニールハウス等、生産施設の単独補助事業の拡充を図ること。

委員会からの要望を受けた志喜屋文康村長は「農水産物販売センターの効果を発揮するためにも、農家の支援ができるような苗畑の運営改善を図り、要望のあった6項目に早急に対応したい」と答えました。

ゼロゴミ0を目指して!



▶開会式に参加するみなさん(コミセン駐車場)

今年も7月1日から8月31日までの間、全国各地で各種環境美化清掃週間や月間等が開催されましたが、恩納村でもその趣旨に賛同して、期間中、村民参加のもと自然に親しみながら環境美化を図り郷土愛を深めました。

ビーチクリーンアップには村内15字から1,437人、事業所業者会・役場から190人、合計1,627人が参加しました。清掃区域は海浜や国道58号線、県道6号線、104号線の沿道で、多くの参加者の協力によりトラック26台分、5,080kgのゴミを収集しました。

空き缶散乱防止キャンペーン クリリアップ大作戦



▲国道58号線沿いの空き缶やごみを拾う参加者

▲運搬されてきたゴミの分別をする職員＝最終処分場

優勝目指してがんばりました!

★ 各字対抗バスケットボール大会 ★

8月1日仲泊校体育館において、第30回恩納村各字対抗バスケットボール大会が行われ、男子優勝山田体協、準優勝仲泊体協、女子優勝前兼久体協、準優勝恩納体協となりました。



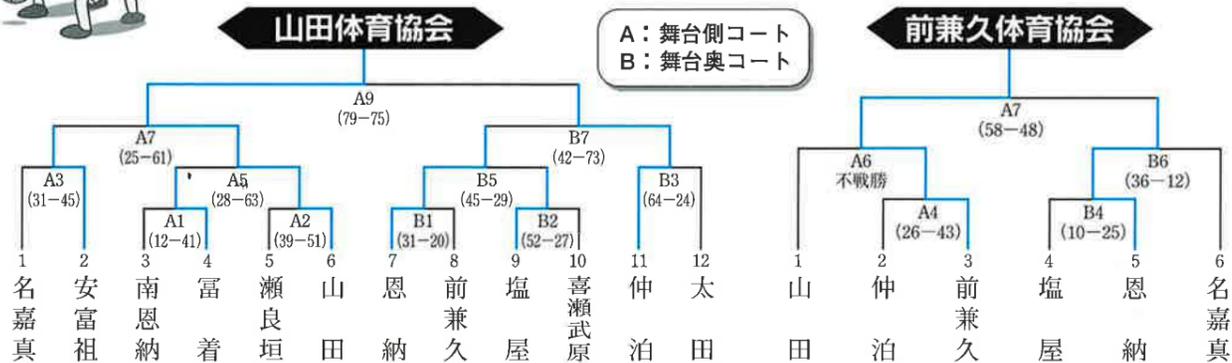
▲ 優勝した山田体協選手のみなさん



▲ 優勝した前兼久体協選手のみなさん

バスケットボール大会 (男子)

バスケットボール大会 (女子)



★ 各字対抗卓球大会 ★

第30回恩納村各字対抗卓球大会が7月4日村コミュニティセンターで開催されました。男子9チーム、女子8チームが出場し、男子仲泊体協が通算25回目の優勝、女子前兼久体協が初優勝を飾りました。



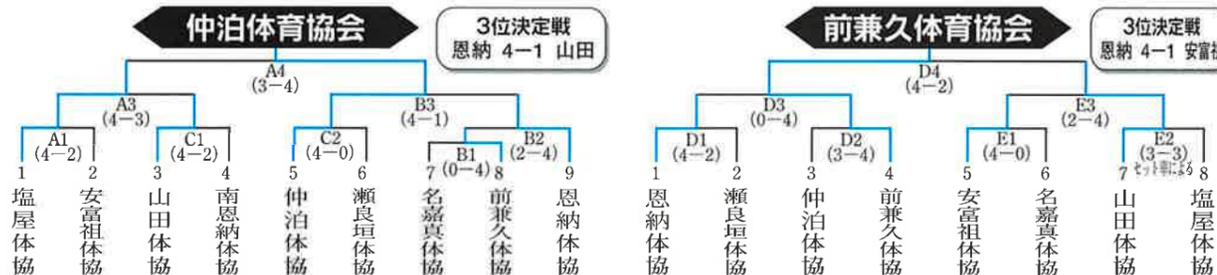
▲ 仲泊体協卓球チームのみなさん



▲ 前兼久体協卓球チームのみなさん

各字対抗卓球大会 (男子)

各字対抗卓球大会 (女子)



★ 各字対抗バレーボール大会 ★

第30回恩納村各字対抗バレーボール大会が8月1日、恩納校体育館で開催され男女ともに8チームが出場しました。男子優勝は恩納体協が初優勝となり、女子は前兼久体協が優勝に輝きました。



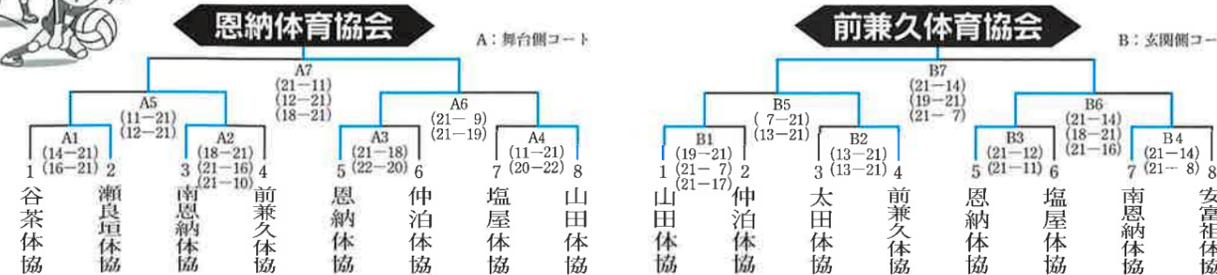
▲ 優勝した恩納体協 (男子)



▲ 優勝した前兼久体協 (女子)

バレーボール大会 (男子)

バレーボール大会 (女子)



★ 壮年バレーボール大会 ★

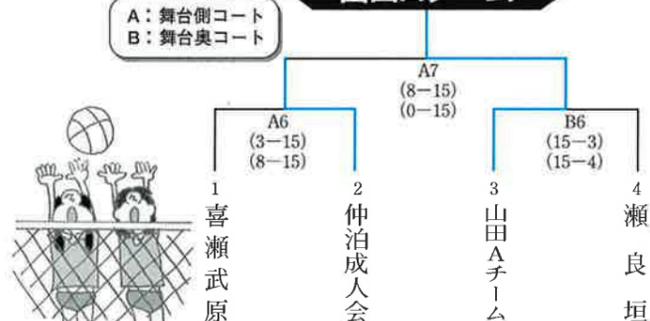
第22回恩納村壮年バレーボール大会が8月22日仲泊校体育館で行われました。予選リーグを勝ち進んだ山田Aチーム、仲泊成人会、喜瀬武原、瀬良垣の4チームが決勝トーナメントで熱戦を繰り広げ、山田Aチームが仲泊成人会を破り優勝しました。

壮年バレーボール大会



▲ 優勝した山田Aチーム選手のみなさん

山田Aチーム



健康は普段の食生活から!



▲ 中部福祉保健所の国吉先生の講話



▲ グループワークに真剣に取り組む受講者

その後、中部福祉保健所健康推進課長 国吉秀樹先生による講話が行われ、他の県、沖縄県の食生活状況、生活習慣病に関する内容に、受講者の皆さんは熱心にメモをとっていました。

引き続き行われたグループワークでは、受講者が3つのグループに分かれ、恩納村の自慢できるところや、どんな恩納村にしたいか等の意見交換を行い、第1回目の講座を終えました。

「私たちの健康は私たちの手で!」を合い言葉に、各地域で「食」に関するボランティア活動をを通じて、健康づくりの輪を広める役割を担う「食生活改善推進員」の養成講座(主催・恩納村役場健康増進課 全12回)の開講式が、平成16年8月5日(木)に恩納村総合保健福祉センターで行われました。

開講式では志喜屋村長より「まずは自分のため、次に家族のため、地域のために、ぜひ恩納村の食生活改善推進員を目指して頑張ってください」と激励の言葉がありました。

恩納村食生活改善推進員養成講座開講式

社協ミニデイサービス 塩屋公民館



▲ 天咲のみなさんも一緒にハイ! チーズ!!



▲ 天咲の曲にあわせてカチャーシーや手拍子をする塩屋区のみなさん

天咲のミニコンサート

塩屋公民館でこのほど県内で活躍している民謡歌手グループ「天咲」のミニライブがありました。

天咲は県内の老人ホームなどを訪問し、慰問コンサートを行っています。今回のこの公演で83回目となり、社協のミニデイサービスを利用してのお年寄りのほか、夏休みということもあり、子ども会も参加して天咲の美しい歌声に聴き入っていました。

ミニコンサートでは、安里屋ユンタなどの民謡全5曲をメンバー紹介などを交えて歌い上げ、最後は、会場一体となり曲にあわせてカチャーシーを踊りました。

塩屋子ども会を代表して山田小6年の宮平勝人君は「天咲のおねえさんが来るのをとても楽しみにしていました。今日はありがとうございました」とお礼のことばを述べ、果物の盛り合わせをプレゼントしました。

夏休みの思い出 竹バイバルキャンプ!



▲ 自分たちで作ったごはんはおいしいね!

8月3日から6日の日程で、恩納村南恩納沖の無人島・ヨー島でサバイバルキャンプが行われました。(村教育委員会・子ども会育成連絡協議会共催) 参加者は村内の小学5年生24名、ジュニアリーダー15名で、スタッフ100名余がサポートにあたりました。このサバイバルキャンプは自然生活体験で自然に親しみ、仲間と協力することを通して社会的な技能を身につけるとともに生活に必要な基礎的な技能を身につけ、自立を促し、健康で心豊かな恩納村の子どもを育てることを目的に、毎年夏休みに実施しており、今年で14回目を迎えます。

キャンプ1日目はキャンプサイト作りが始まり、サバニ漕ぎを体験。2日目は



▲ サバニ漕ぎに挑戦! けっこうキツイぞ!

シノーケリング、釣り、追い込み漁に挑戦し、大漁となり子どもたちは大喜び。3日目は姉妹町村の徳島県日和佐町子ども会(23名)が参加し、昼はシノーケリング、釣り、炊飯活動、夜はキャンプファイヤで交流を深め、星空の下遅くまで会話が弾みました。4日目は日和佐町の皆さんを見送り、キャンプサイトを撤収、南恩納漁港で解散式を行い全日程が終了しました。

炊飯活動のメニューは7月に子ども会が収穫した米、子どもたちが捕獲した魚の魚汁、カレーライス、冬瓜汁等で飲み物は「水」のみでした。参加した子ども達は遠泳が厳しかったようで「遠泳がなければ、また参加したい」と本音を覗かせていました。子どもたちの真っ黒に日焼けした顔には4日間の充実感がみなぎっていました。

キンボールに挑戦! 恩納村女性スポーツ大会

女性のスポーツ活動の機会を拡大し、キンボール普及を図り、スポーツを通して体力の向上と仲間づくりの場を提供する目的で、恩納村教育委員会主催の「恩納村女性スポーツ大会キンボール編」が8月25日恩納校体育館で行われました。キンボールは、直径12.2センチ、約1kgの大きなボールを使い1チーム4名、3チームでプレイし、ヒットやレシーブを繰り返して、失敗したら他チームに得点が与えられるというユニークなスポーツです。

1986年カナダで考案されました。日本では1997年に初めて紹介され、恩納村では今年度から導入された新種目で、各校区単位の講習会を経て大会が行われました。

大会では14チーム(100名)が和やかなうちに熱戦を繰り広げました。予選リーグ・決勝トーナメントを勝



▲ キンボール初代チャンピオン安富祖Aチーム

ち進んだ安富祖Aチームが瀬良垣Aチームを下し優勝しました。3位は恩納Bチーム。安富祖Aチームキャプテンの宮城洋子さんは「他のチームより技が多く、それぞれが自分のポジションをわきまえて若手の活躍が優勝に結びついた。何よりも楽しくプレーできたことが大きな喜びです」と感想を述べました。

住民健診未受信の皆様へ

未受信者を対象とした住民健診を平成16年10月17日(日)に実施します。



【会場】総合保健福祉センター
【受付時間】午前8時30分～11時00分まで
【お問い合わせ】健康増進課
【電話】098-982-3500

ケータイ使用は罰金

運転中の使用そのもの(携帯電話を手に持っている場合も含む)が罰せられることになります。

反則金 大型自動車 7,000円
普通自動車 6,000円
自動二輪車 6,000円

減点 1点
※平成16年11月1日施行



平成16年全国地域安全運動

平成16年10月11日(月)から20日(水)までの10日間「みんなでつくる安心の街」「ちゅらさん運動で築く犯罪のない安全・安心な沖縄県」をスローガンに、平成16年全国地域安全運動を実施します。

★ちゅらさん運動★

～県・事業者・県民・学校・警察が一体となった取組～

1「ちゅらひとづくり」

沖縄の将来を担う子供達の健全な育成を図る。

2「ちゅらまちづくり」

通学路、公園などの安全・安心な環境を確保する。

3「ちゅらゆいづくり」

地域の連帯とユイマールを取りもどす。
みなさまのご協力をお願いいたします。

石川警察署・石川地区防犯協会

第二種電気工事士の資格がとれる!

平成16年度デュアルシステム訓練 電気設備科 訓練生募集

応募資格: ①概ね35歳以下の方
②当該訓練の修了後に常用雇用への就職を希望している方
③現在無業であるか、パート、アルバイト等の就労をしている方

募集期間: 平成16年10月1日(金)～12月3日(金)

募集定員: 20名

入所選考日: 平成16年12月17日(金)

入所日: 平成17年1月4日

修了日: 平成18年1月31日

問い合わせ先: ポリテクセンター沖縄

TEL.098-936-1755 担当 北村、本山

痴呆性高齢者介護教室

老人の医療、リハビリ、看護、介護に関わる人、興味のある人など、どなたでも参加できます。

【日時】平成16年10月8日(金)午後2時～4時

【場所】恩納村総合保健福祉センター

【講師】比嘉節子先生(痴呆性介護指導者)
具志川市老人保健施設 陽光館

【お問い合わせ】恩納村基幹型在宅介護支援センター
098-966-1207

青年海外協力隊/シニア海外ボランティア 平成16年度秋募集のお知らせ

応募資格: 青年海外協力隊20歳～39歳

シニア海外ボランティア40歳～69歳

募集期間: 平成16年10月10日(日)～11月16日(火)

お問い合わせ: JICA沖縄(沖縄国際センター)

TEL.098-876-6000 担当: 村田、奥間

労災保険のこと、なんでもご相談ください!

・労災の年金、介護、生活問題、心配ごと。
・仕事の疲れからくる健康・精神的悩みなど
「過労死」等の相談にもご利用ください。

日時 毎日(土・日・祝祭日を除く)
午前9時～午後5時

場所 (財)労災年金福祉協会
沖縄労災年金相談所
那覇市松山1-32-7
郵政互助会那覇久米ビル4階

相談方法 来所、電話、文書等により相談をお受けします。
電話 098-869-1328

犬・猫の避妊・去勢手術のおすすめ

(社)沖縄県獣医師会では、飼育される見込みのない子犬や子猫を増やさないために、動物愛護思想の普及啓発事業の一環として、飼い犬と飼い猫の避妊・去勢のために手術費用の一部を助成する事業を実施しています。



健康な犬・猫をあわせて370頭について
避妊・去勢手術費用の一部を助成します。



助成金の金額
犬の雄: 5,000円 雌: 7,000円
猫の雄: 3,000円 雌: 5,000円

手術を受ける動物病院の定める
手術料金から上記の金額を助成します。

* 募集期間 12月19日まで(抽選は計3回)

* 応募方法等詳しくは、役場及び各字公民館にありますチラシを参考にしてください。



お問い合わせは

(社)沖縄県獣医師会/853-8001
役場福祉環境課/966-1207



行政相談週間はじまる

—10月18日～24日—

医療保険、年金、老人保健・福祉、雇用保険、交通安全、恩給、公害、戸籍、道路、環境衛生、登記など

★ 行政相談委員が相談に応じています。

相談は無料・秘密厳守です。



行政相談委員は小山民子さんです。
(総務大臣委嘱)
連絡先 / 966-8647(自宅)

★ 国民と行政を結ぶホットライン

総務省沖縄行政評価事務所の行政苦情110番
TEL.098(867)1100 / 0570-090110
(17:00～翌8:30までは留守番電話)

今年もはじまります! 赤い羽根募金運動!!

「地域の福祉、みんなで参加」を合言葉に、今年も10月1日から12月31日まで、赤い羽根募金運動が展開されます。赤い羽根募金は、沖縄県共同募金会が主体となって実施します。みなさんからご寄付いただいたお金は、県内および恩納村の社会福祉のために役立てられます。少子・高齢化という社会では、ますます助け合いの心が必要となってきます。今年もみなさんのご協力よろしくお願ひいたします。合わせて、これから配布する関係資料にお目通しください。よろしくお願ひ申し上げ、赤い羽根募金運動 恩納村分会 げます。(TEL: 966-1193)



コールセンター入門講座in名護 受講生募集

日程 平成16年10月21日(木)～11月5日(金)
10:00～16:00 平日のみ11日間
申込締切 10月14日(木)17:00まで(説明日 10月15日予定)
会場 名護市マルチメディア館(名護市豊原224-3)
受講料 無料
対象 県内在住45歳位迄の求職者
(コールセンターに就職を希望する方)
講座内容
◇コールセンター概論
◇正確にきく・正確に伝える
◇ビジネス電話応対の基本
◇コミュニケーション実践 他
申込方法 下記の場所でお申込みいただくか、所定の申込用紙に記入してFAXしてください。
○名護市マルチメディア館
○名護市金融特区・情報化推進室(市役所2F)
問合せ先 テレ・ビジネス人材育成センター
TEL 098-860-2561
FAX 098-941-0281
主催 沖縄県
実施主体 財団法人雇用開発推進機構
NPO法人フロム沖縄推進機構

社協への寄付、 たいへんありがとうございました。

一般寄付

① 喫茶うんなナビー 代表 石嶺静枝様 20,000円
② 恩納村民生委員児童委員協議会様 23,600円

香典返し

① 新門由利子様 20,000円
② 名嘉真和子様 100,000円

物品寄付

① うんなまつり実行委員会 委員長 志喜屋文康様
DVDレコーダー・扇風機
恩納村社会福祉協議会

恩納村に転入してきたお子さんへ(平成12年以降) ～麻しんの追加予防接種について～

平成11～13年度(主に平成12年度)に麻しんの予防接種を受け、下記の条件のいずれも該当するお子さんは免疫効果が薄い可能性があるため、麻しん予防接種の追加接種をお勧めいたします。

【対象者】平成11～13年度に沖縄本島中部地区12市町村(宜野湾市、沖縄市、石川市、具志川市、西原町、北谷町、嘉手納町、与那城町、勝連町、読谷村、中城村、北中城村)の中部地区医師会所属医療機関で麻しんの予防接種を受け、恩納村に転入してきたお子さん

【期間】平成16年12月24日まで

【費用】無料

【接種場所】恩納クリニック



(お願ひ)

お心当たりのある方は、お子さんの母子健康手帳にある予防接種内容を確認しますので、必ず恩納村総合保健福祉センター予防接種担当までお電話ください。

(該当しないロットNo.もあります)

※転入者以外の麻しん予防接種の追加接種対象者には既に個別通知してあります。

連絡先: 恩納村総合保健福祉センター 982-3500

無料調停相談会のお知らせ

名護調停協会では、裁判所の後援により無料調停相談を開設いたします。調停等でお悩みの方は特設相談所までお越しください。

日時: 平成16年10月2日(土)
午前10時から午後4時まで
(受付は午後3時30分まで)

相談会場: 宜野座村保険相談センター

相談内容: ① 民事調停相談
(サラ金・商事・土地建物・相隣(日照、通風、通行権等)・農事・交通・公害・その他)
② 家事調停相談
(夫婦・親子・扶養関係・相続・財産分与関係・その他)

お問い合わせ: 那覇地方裁判所名護支部内
(名護市字宮里451-3)

電話: 0980-52-2642